2021年8月19日

東京都連盟ボクシング連盟

加　盟　団　体　　殿

東京都ボクシング連盟

強化委員会

2021年度全日本ボクシング選手権大会東京都連盟代表選手の選考過程・結果について

新型コロナ感染症が南関東から関東全域に急拡大している中で有りますが2021年度の全日本選手権大会女子シニアの参加申込が8月31日に設定されておりこの大会に都連より代表を選出する方法を模索しました。本来であれば正式な試合（トーナメント形式）にて代表を決定すべきところですが、これには最低でも３日間の日数を要し試合のルールを適用する場合多くの制約を受けることとなります。

よって、この状況下では試合方式は採用出来ないとの結論に至り、スパーリングを中心として選考方法を採用する事としました。

7月26日にはシニアの選手登録が有る加盟団体に「選考会実施のお知らせ」を発信しました。この時点では8月17日・18日の2日間にてスパーリングを中心とした選考を実施する予定でした。8月9日の申込締切日までに男子8階級に計25名、女子6階級に計8名の応募が有りました。

この応募人数から1階級1名の応募者は選考会場に来ることなく認定とする事と致しました。但し戦歴の少ないLH級の1名に関しては認定スパーリングを実施する事としました。

実際の選考を行う日が近づくにつれ新型コロナの感染者が一層増加の傾向が顕著となり2日間の選考を17日の１日に短縮して行うことになりました。

17日の選考会に参加する選手・セカンド・強化委員には「抗原検査キット」にて陰性を確認してから選考スパーリングを実施する方法を採用しました。

選考の結果は別紙をご参照下さい。

この選考方法が最善であったかは定かでは有りませんが、選考過程に於いて感染者を出す可能性をなるべく少なくする事に重点を置いた方式となりました。

以上